

令和3年(2021年)5月13日  
総務委員会資料  
企画部企画課

## 中野区基本計画の検討状況について

中野区基本計画(素案)(以下「素案」という。)について、意見交換会等を実施し、その意見の概要をとりまとめた。

また、これまでの検討状況等を踏まえ、今後の進め方について一部見直しを行ったのであわせて報告する。

### 1 素案に関する意見交換会等の実施結果

#### (1) 意見交換会

開催日時	会場	参加者数
4月3日(土)14時30分～	野方区民活動センター	29人
4月5日(月)10時30分～	南中野区民活動センター	19人
4月7日(水)14時30分～	江古田区民活動センター	9人
4月9日(金)18時30分～	鷺宮区民活動センター	29人
4月11日(日)10時30分～	東部区民活動センター	29人
4月13日(火)18時30分～	中野区役所	33人
計		148人

#### (2) 区民から電子メール等で区に寄せられた意見

件数：37件(内訳：電子メール17件、ファクス3件、窓口17件)

#### (3) 関係団体等からの意見聴取

団体数：66団体(集会形式27団体、電子メール等39団体)

参加者数：364人

#### (4) 意見交換会等における主な意見の概要

別紙のとおり

※当該意見は、意見交換会等において区に寄せられたものである。今後、当該意見を整理し、基本計画に関するものを抽出し、計画への反映について検討を行う。

## 2 素案の見直し及び策定期間の変更

令和3年第1回定例会における議会の意見及び意見交換会における区民意見等を踏まえ、区として検討を行い、素案の内容を一部見直し、改めて意見交換会等を実施する必要があると判断したことから、改定素案を作成するものとする。これに伴い、策定期間を令和3年8月から10月に変更する。

なお、今後、作成を進める改定素案においては、次の事項を検討している。

《改定素案において検討する主な内容》

- 基本計画とSDGsの関連性の記載
- 計画期間における改定の考え方、「地域包括ケア体制の実現」における地域医療の位置付け、「遊び心あふれる文化芸術」の趣旨に関する記載、生物多様性の保全に関する記載、事業の展開における後期の記載など、議会意見及び区民意見等を踏まえた見直し

## 3 今後のスケジュール（予定）

- |      |     |                              |
|------|-----|------------------------------|
| 令和3年 | 6月  | 改定素案の作成<br>改定素案に関する意見交換会等の実施 |
|      | 7月  | 案の作成                         |
|      | 8月  | 案に関するパブリック・コメント手続の実施         |
|      | 10月 | 策定                           |

## 意見交換会等における主な意見の概要

NO.	主な意見
<b>第2章 策定の背景</b>	
1	新型コロナウイルス感染症の影響で、体力や認知機能が低下した高齢者が増加していると感じるので、「1区を取り巻く社会状況等の変化(5)新型コロナウイルス感染症の影響による社会の変化」に、介護予防を入れてほしい。
2	SDGsの推進に関して、具体的なゴールや数値を示すことが難しく、達成度を追いかけることに労力をかけることになり、柔軟な区の施策に歯止めをかけることにつながりかねない。本文中に「SDGsに取り組むにあたり」や「SDGsの達成に向けて」との記載があるが、「SDGsを参考に」などの表現にした方が良いのではないかと。
3	基本計画の内容とSDGsのゴールが合致していると良いのではないかと。
<b>第3章 重点プロジェクト</b>	
4	基本計画において、これからの5年間に重点的に実施していくという取組を明確に示し、その実現に向けて区民の協力を得られるようにしてほしい。
5	子育て先進区の実現に向けた取組の効果を踏まえ、目標とする人口推計を示してほしい。
6	子育て先進区の実現に向け、予算や人材を投入して進めてほしい。
7	「重点プロジェクト1 子育て先進区の実現」の「②子育て・子育て環境を整備します」の対応すべき課題に、保育の質の維持・向上または保育施設の保育環境の充実について盛り込んでほしい。
8	「重点プロジェクト3 活力ある持続可能なまちの実現」の「②活力の再生と創出に向けたまちづくりを進めます」に、例えば、文化財を内部改装し、ホテルやレストランなどとして保存、活用するなどの「歴史的建造物の動的保存」を盛り込み、まちの歴史的・文化的価値を高めてほしい。
<b>第4章 基本目標別の政策・施策</b>	
<b>(1) 人と人がつながり、新たな活力が生まれるまち</b>	
9	憲法擁護・非核都市としての取組をしっかりと位置付け、進めることにより、平和について、考え・学び・行動する区民を増やしてほしい。
10	女性活躍について盛り込んでほしい。男女共同参画について、日本は国際的に遅れており、中野区は全国の自治体に先立った取組を進めてほしい。
11	外国人住民は、近くに相談相手がない人が多く孤立しやすいので、相談、情報交換や交流できる場を強化してほしい。
12	「施策3 地域における人のつながりと愛着が生まれる環境づくり」の「主な取組①人とまちを知るための情報発信」を「人とまちを知るための情報収集・発信」としてはどうか。情報発信が挙げられているが、その前段階として地域情報を区が自ら取得・整理・管理する「情報収集」が大切であると考えます。また、その情報をオープンデータとして公開する仕組みについても検討してほしい。

NO.	主な意見
13	区民活動センターの集会室について、新型コロナウイルス感染症の影響で使用が制限され、その都度手続をする必要があり大変だった。区民活動センターに行かなくても手続ができるようにしてほしい。
14	区民活動センターをはじめとした区有施設の集会室の予約について、インターネットでの抽選にも対応し、予約・支払いができるサービスを導入するなど、改善を図ってほしい。
15	区民活動センターに限らず、児童館、高齢者会館等の区有施設全体の利用促進・活動に対象を広げ、幅広く取り組んでほしい。
16	旧中野刑務所正門は、歴史的建造物であり、その歴史を区民に広く知ってもらう必要がある。哲学堂についても同様であり、区が歴史的建造物を大事にするという姿勢を示してほしい。
17	旧中野刑務所正門の移築にはクラウドファンディングなどを活用し、税金の支出を抑える仕組みを検討してほしい。
18	歴史民俗資料館について、多くの区民に利用してもらえるよう、工夫した運営を行い、楽しめる施設にしてほしい。
19	楽器を使える施設を増やしてほしい。
20	中野大好きナカノさんのファンである。シティプロモーションの予算が年々削られているのは残念だ。他区の人には「中野区らしい」と好評であり、外部の意見も反映させて活動を続けてほしい。
21	中野ブロードウェイから新井薬師商店街、哲学堂へ続く道を観光のコースとして、区外の人たちへも広報してほしい。
22	中野区には、アニメーションの制作会社が多いので、そうした会社と連携した取組を行ってほしい。
23	雇用促進の視点が弱いと感じるので、強化してほしい。
24	テレワークができる場所をつくってほしい。
25	商店街について、駐車場や多目的トイレ、授乳スペースなどがあると、誰もが利用しやすくなり、魅力が高まると思う。
26	中野駅周辺のまちづくりについて、活力やにぎわいは、これ以上不要だと思う。住民本位の調和のとれたものとしてほしい。
27	中野駅周辺において、にぎわい、文化・芸術事業を誘導するため、文化・芸術事業を牽引する店舗を認定するとともに、店舗と施設での文化・芸術事業の連携を図る取組を行ってほしい。
28	中野駅周辺のまちづくりについて、エリアマネジメントは、住民目線のものとなっている必要があると思う。
29	「施策11 中野駅周辺まちづくりにおける都市基盤の整備と多様な都市機能の誘導」にある中野四丁目西地区第一種市街地再開発事業は民間の事業だと思うので、区の計画に主な事業として掲載すべきではない。
30	中野駅周辺の再開発で新たに建てられる建物は、ゼロエミッション化したものとなるようにしてほしい。

NO.	主な意見
31	中野駅周辺には、子育て家庭がベビーカーでも買い物しやすいスーパーが少ない。また、子どもが体を動かせるスポーツ施設は混雑している。それらの施設を誘致し、子育て家庭にとって利便性の高い環境を整えてほしい。
32	中野駅周辺に駐輪場が少ない。歩行者の安全を考えて、駅から離れたところに駐輪場を設置しているとのことだが、不便であり、放置自転車は止まらず、安全面も疑問だ。子どもを連れて離れたところから歩くのもつらい。
<b>(2) 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまち</b>	
33	「施策12 子どもの権利の尊重と理解促進」の現状と課題に、区の施策において、子どもの最善の利益を考え、子どもの権利を尊重することを明記してほしい。
34	子どもの権利擁護に係る条例を制定した後に、区の子どもに関わる施策全般が、子どもの最善の利益を考え、子どもの権利を尊重するものになっているかを検証する審議会を新たに設置し、取組に生かしてほしい。
35	学校、キッズ・プラザ、児童館など、横串で子どもの育つ環境の質を高めていけるよう、子どもの権利に理解のある区職員を確保・教育していくことを盛り込んでほしい。そのような区の体制があれば、区民に信頼感が生まれ、新たな児童館を生かした子ども関連団体の活性化や新たな担い手の確保、地域コミュニティの活性化につながると思う。
36	児童館がない地域では、支援が必要な子どもを発見し、支援につなげていく体制が不十分だと感じるので、強化してほしい。
37	「施策16 子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実」の現状と課題に、学校再編と人口動向が合わず、学校施設の面積が不足しており検討を要すること、区内の保育施設では、のびのびと活動できる環境が失われつつあること、コロナ禍においてはゆとりある保育・教育環境を整える必要があることを記載してほしい。
38	「施策16 子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実」の施策の方向性について、「心身ともに成長することができる教育を推進します」の後に、「そのための環境整備を行うこと」という文言を記載してほしい。
39	子どもたちが心身ともに成長することができる教育を推進するための環境整備について検討する審議会等を設置してほしい。
40	区立小・中学校について、教員が一人ひとりの子どもに目が行き届くよう、教員の人数を増やすとともに、1クラスの人数を20人程度としてほしい。また、子どもの理解度に合った授業を進めるために、授業進捗の実状を調査し、内容の精選を行う必要があると思う。
41	中野区の教職員で良かったと実感をもてるよう、自主性・主体性をもって仕事ができる体制を整えるとともに、長時間勤務の改善などを行ってほしい。
42	教育のICT化の急速な進展により、教員はその対応のため、多忙になっていると思うので、ICT支援員を増員してほしい。
43	区立小・中学校での教育について、ICT機器を活用した学習にすべて切り替えるのではなく、制限された部分で使うという慎重さが求められると思う。また、小・中学生が学習用タブレットを長時間使うことによる健康面への配慮が必要だと思う。
44	総合学習の時間を活用して、地域に開かれた学校を実現してほしい。その上で、区立小・中学校の総合学習の時間では、平和と環境問題を共通テーマとして、地域と連携した取組を進めてほしい。

NO.	主な意見
45	区立小・中学校では、外国人の家庭が増えている。ハラルに対応した給食や、PTA活動でコミュニケーションが取りにくいといったことに対して、区が支援してほしい。
46	キッズ・プラザにおいて、ボランティアのニーズに応えられるような体制を整えてほしい。また、新しく学校施設を建てる際には、ボランティアのニーズについても反映されたものとしてほしい。
47	学校における学習サポートのボランティア活動が有償となるよう、区がサポートしてほしい。
48	区立小・中学校において、ハード面で様々な課題があると聞いているので、課題を取りまとめ、区立小・中学校の今後の建替等の際に生かして行ってほしい。
49	新しく建てられる小学校は、校庭が人工芝となっているが、人工芝は、剥がれたプラスチックの芝が海に流れ、海洋汚染につながる。子どもへの意識向上やヒートアイランド現象が起これにくい環境をつくるためにも、校庭は天然芝としてほしい。
50	一足制を導入している学校があるが、ウイルスを持ち込む可能性が高まり、感染症の拡大防止の観点から問題だと思う。教室を清潔に保つことができるよう、見直してほしい。
51	区立学校の図書館は蔵書数が少なく、古い本が多い。蔵書数を増やすことも大切だが、新しい本へと定期的に入替を行い、質を担保することも重要だと思う。また、選書等について学校を支援する体制を整えてほしい。
52	「施策20 地域における子育て支援活動の促進」の「主な取組②子育て関連団体への支援の強化」について、ネットワーク化をどのように図るか具体的な道筋が見えない。区の助成金の交付団体であるかを問わず、子育て支援を行う団体の情報収集・発信、ネットワーク化についての具体的な支援を行うべきだ。また、成果指標に支援団体数を入れてはどうか。
53	「施策20 地域における子育て支援活動の促進」の「主な取組③地域の相互援助活動の推進」のファミリー・サポート・センター事業について、例えば、登録講習会や研修のICT化の支援、マッチング機能のICTサポートを検討してはどうか。
54	すこやか福祉センターに行くのが大変な子育て家庭のために、地域にある施設に出向いて乳幼児健診や相談を実施してほしい。
55	20～30歳代の人が転出していかないよう、子育て家庭が安心して過ごすことができ、専門の職員に相談もできる施設をつくってほしい。
56	不妊治療費助成を拡充するなど、子どもを産む前の支援についても充実してほしい。
57	中野区内には出産に対応した医療機関が少なく、出産費用に関する助成がないなど、子育てしにくい状況だと思うので、子どもを産み、育てられる環境を充実してほしい。
58	病児・病後児保育と発達障害児・知的障害児のデイケアが不足していると感じるので、充実してほしい。
59	ベビーシッターの利用助成制度等について積極的に周知するとともに、病児のベビーシッターの利用助成などを充実し、育児しやすい環境を整えてほしい。
60	中野区では、保育園や学童クラブの待機児童が発生しており、働きながら子どもを育てるのが難しい状況であるため、改善してほしい。
61	保護者の働く権利を保障するため、公設公営保育園を増設し、待機児童をゼロにしてほしい。

NO.	主な意見
62	保育園について、株式会社や他県の法人等、保育園の運営主体が多様化している中で、区立保育園が中心となって、区内の保育園等のつながりを作り、保育の質を担保してほしい。
63	すべての乳幼児の発達を保障するため、保育の質ガイドラインをより活用していくとともに、内容について検証を行っていく必要があると思う。
64	民間の保育施設の保育士の定着率向上のため、待遇改善が必要だと思う。また、保育士の増員や集団規模の基準の見直し等により、きめ細やかな保育を進めてほしい。
65	子どもの最善の利益を考えた場合、区立保育園を民営化すべきではないと考える。また、区立保育園の配置については、小学校区に1園としてほしい。
66	「施策22 将来を見通した幼児教育・保育の実現」に、区が保育内容に責任を持ち、保育の質の向上を図ること、保育環境の改善を図ることができる施策が求められていることを記載してほしい。また、より良い保育環境にある保育施設が存続していくことが必要だと思うので、区立保育園は10園から更に増やしてほしい。
67	中野区では、区立保育園の民営化を進めているが、他の自治体では公立園が被虐待児や手厚い支援が必要な子どもの受け皿となっていると聞くので、十分な数を残すべきだと思う。同様の理由から、区立幼稚園も民営化すべきではないと考える。
68	区立幼稚園については、当分の間、現在の幼稚園運営を継続し、認定こども園について検討を続けるとのことだが、現在区立幼稚園で行われているアクティブラーニングやインクルーシブ教育は素晴らしいので、そうした教育を今後も残してほしい。他の自治体では認定こども園への転換がうまくいっていない例もあるので、慎重に検討してほしい。
69	区立幼稚園での教育を必要としている子育て家庭もいるので、区立認定こども園とは別に、区立幼稚園を設置し、豊かな受け皿と教育の両方ができると良いと思う。
70	区立幼稚園について、子育て家庭のライフスタイルに対応していくなら、保育園と幼稚園の2つの施設を設置すれば良く、認定こども園にするメリットはないと思う。
71	障害のある子どものセーフティネットとなっている区立幼稚園は必要だと思う。教育に力を入れる中野区として、幼児教育に重きをおき、区立幼稚園として2園を存続してほしい。
72	子育てひろばの実施場所を増やすとともに、子育てひろばへの支援を強化してほしい。また、自転車やベビーカーの置き場がない、狭いなど、利用しづらい箇所について、改善してほしい。
73	年齢の離れた子どもたちを連れて行ける子育て施設が不足していると感じる。新型コロナウイルス感染症の影響で、更に子育て家庭の居場所が不足しているので、充実してほしい。
74	児童館について、これまで行ってきた地域活動への支援、すこやか福祉センター等関係機関との連携、地域の子ども施設へのアウトリーチ機能を更に充実してほしい。
75	児童館は、乳幼児親子から中高生まで幅広い年代が利用しており、重要な拠点だと感じており、今後も区の直営で運営してほしい。学童クラブは、現在、民間に委託されているが、子どもを安全に預かることを第一に考えた運営となっている一方、子どもが冒険できるような活動が少ないと感じる。
76	児童館は月曜日が休みとなっているが、月曜日から土曜日まで開館してほしい。児童館は、多世代の活動の場となっており、学校内のキッズ・プラザは代替にならないと思う。また、児童館は直営で館長を含め6名の専任で運営してほしい。
77	児童館について、キッズ・プラザと同様、ランドセルを持ったままの利用と昼食の持ち込みを可能にしてほしい。

NO.	主な意見
78	キッズ・プラザや学童クラブは、子どもへのケアや社会教育の場として、児童館との連携・協働を深めてほしい。
79	子どもが勉強できるスペースを充実してほしい。
80	児童館以外の区民活動センター等においても、中高生が気軽に安心して集まれる場所を整備することを検討してほしい。中学校の教室等を部活動以外でも使えるようにしてほしい。
81	若者の施策に、社会人についても明記してほしい。
82	子どものいない20～30歳代の区民は、地域とつながる機会がほとんどないので、地域に様々な人と交流できる場を作してほしい。
<b>(3) 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまち</b>	
83	銭湯などの入浴施設がない地域の一人暮らし高齢者は不便な暮らしをしている。入浴施設の利用券を支給するなど、高齢者が住みやすい環境を整えてほしい。
84	すこやか福祉センターで各種事業が行われても、遠くて通えない高齢者もいるので、バスによる送迎などを検討してほしい。
85	元気な高齢者については具体的に書かれていない印象だ。地域で活動したい高齢者に向けた支援策を講じてほしい。
86	高齢者がプライドを持ってできる仕事など、シニア人材の活用を検討してほしい。
87	子どもは高齢者に活力を与える存在だと思うので、高齢者が子どもと触れ合える場が必要だと思う。
88	中野区の近隣区は、Jリーグ等のクラブと連携している。スポーツ振興を図るには、スポーツをすることだけでなく、スポーツ観戦についても推進する必要があると思う。
89	新井薬師公園には児童館があり、子どもたちが多く集まるので、喫煙所を設けないでほしい。
90	区有施設は、全面的に禁煙してほしい。
91	人々の本離れが進んでいると思う。区立図書館において、魅力的な図書を増やしてほしい。
92	地域開放型学校図書館は、蔵書数が少なく、スペースも狭いため、図書館の機能としては不十分だと思う。運用状況を検証するとあるが、検証結果は、速やかに広く周知してほしい。
93	地域開放型学校図書館について、中野第一小学校の施設を見学したが、建物の構造上、地域に開かれていると感じなかった。同小学校内のキッズ・プラザは、高学年が授業している間は、校庭が使えないなど、過密な状態になっている。地域開放型学校図書館のあり方を検証し、効果がなければ廃止し、子どもたちが使えるスペースを広げてほしい。
<b>(4) 安全・安心で住み続けたい持続可能なまち</b>	
94	近年、大規模風水害による長期・広範囲の停電が発生しているため、避難所に、自立分散型の電源や停電対応型の空調設備など、停電時の環境改善を図る設備の導入を進めるべきと考える。
95	停電時にも在宅避難が可能となるよう、家庭用燃料電池、太陽光発電設備や蓄電池などの設備の導入を推進すべきだと考える。

NO.	主な意見
96	若宮地区は、地震に関する総合危険度が高い地域であり、防災まちづくりに力をいれてほしい。また、防災行動の向上に向けた取組など、ソフト面からの取組も大切だと思う。
97	発災時の輻射熱による被害を防ぐための対策を検討してほしい。
98	西武新宿線連続立体交差事業により新たな活用が可能となる鉄道事業用地については、地域交流の場としてほしい。
99	基本構想の「改定の背景」では、人口構造の変化が将来、区の財政に影響を与えることが予測されているが、補助第220号線などの道路計画は予定どおりとなっている。このような不要不急の道路計画は、中止を含め見直してほしい。
100	中野区の住宅は高額であり、子育て世帯が購入するのは難しい。空き家の活用や運用していない土地を住宅にするなど、区としても対策を講じてほしい。
101	中野区は、自然が少ないと感じる。公園を充実するとともに、常設のプレイパークを検討してほしい。
102	子どもを管理する対象として捉えるのではなく、のびのびと育つ環境を大切にし、子どもたちがのびのびと過ごせる公園やプレイパークといった場を増やしてほしい。
103	プレイパークについて、委託事業とするなど、区が主体となって実施してほしい。子どもの居場所が少ない中野区で常設のプレイパークをつくり、高齢者等多世代が集い誰もが安心して過ごせるコミュニティ作りの場としてほしい。
104	公園について、みどりが多く、遊具があり、子どもの声を生かした、様々な年齢の子どもたちが楽しめる公園づくりをしてほしい。
105	高齢者等が区の施設を利用しやすくなるよう、施設を巡回するバスを設けてほしい。
106	世界全体で、ゼロエミッションに向けた取組が進んでいるが、中野区においても、二酸化炭素の排出削減だけでなく、メタンガスの排出削減に向けた取組を進める必要がある。家畜からのメタンガスの排出削減に向けた取組を行ってほしい。例えば、学校給食において、肉を使わない野菜だけの献立の日を設けてはどうか。子どもたちへの環境教育にもなるので、良いと思う。
107	RE100の取組を積極的に行うことを打ち出し、再生可能エネルギーの活用を積極的に進めてほしい。
108	太陽光発電システムや電気自動車についての助成を充実することで、導入しようという区民が増えると思う。
109	再生可能エネルギーは天候等に左右され、都市部にある中野区では十分に確保するのは難しいと考える。家庭部門の省エネルギーを推進するため、太陽光発電設備との連携も可能な家庭用燃料電池等の導入も支援すべきだと思う。
110	粗大ごみの不法投棄が目立っている。ごみ収集の場所に、多言語での看板を設置するなど、ルールを分かりやすく周知し、不法投棄を防ぐ工夫をしてほしい。
111	リサイクル展示室について、品数が少なく、魅力がないと感じるので、改善してほしい。
112	西中野小学校と鷺宮小学校を統合すると、西中野小学校の校区に住む児童は、西武新宿線の踏切を通り、新しい学校に通う必要が出てくる。踏切を通らずに安全に通えるよう、跨線橋や地下道を設置してほしい。

NO.	主な意見
<b>第5章 区政運営の基本方針</b>	
113	意見交換会は、大きく意見が反映される場ではないと感じる。例えば、こうした意見交換会の他に積極的に意見交換ができる市民会議のようなものを開催してほしい。
114	基本計画の意見交換会や子どもの意見を募集するといった取組は良いと思うが、ターゲット層に届くよう、LINEなど適切な媒体を活用してほしい。
115	歳入確保のため、企業を誘致して、税収を上げてほしい。
116	デジタルトランスフォーメーションを進めるとあるが、行政は対応が遅いと感じる。民間企業等と連携した取組を進めると良いと思う。
117	保育園の連絡帳や小学校の教材のデジタル化について、検討してほしい。
118	デジタル化を推進する際、誰一人取り残さない視点に立ち、デジタル弱者に対する配慮も必要だと思う。
119	区は、これまで民間委託を進めてきているが、区民の抱える課題は複雑化しているので、民間委託せず、区が責任を持ち適切にサービスを行っていく必要があると思う。
120	組織の縦割りをなくすことを明記してほしい。
<b>その他</b>	
121	成果指標については、具体的に数値目標を設定し、着実な推進を図ってほしい。
122	政策に記載されている「現状値」は、何の調査によるものか記載してほしい。
123	基本構想の改定に向けた検討の際に区民から出された意見は、基本計画において反映させるべきものが少なくないと思われるので、再度検討してほしい。
124	子育て家庭から意見を聞く場を設け、基本計画の策定に向けた検討を進めるべきだと思う。
125	基本計画（案）についても、意見交換会を実施してほしい。

※意見交換会及び電子メール等において区に寄せられた主な意見を取りまとめたものであり、質問、個別性の高い意見は除いている。なお、関係団体等からの意見聴取の結果については現在取りまとめを行っているところである。